

オリーブ等難発根性樹種の 挿し木における発根率向上技術

近年、観賞用樹種としてオリーブが人気となっています。しかし、オリーブ等一部の樹種は挿し木での発根率が低いことから、増殖が難しい樹種となっています。そこで発根率が高くなる挿し木時期や環境条件を明らかにしました。

挿し木の適期

オリーブは**9月**

常緑ヤマボウシは**7月**
の発根率が高い！

オリーブ
(チプレシーノ)

挿し木日	発根率 (%)
12月17日	5
6月29日	25
9月3日	78

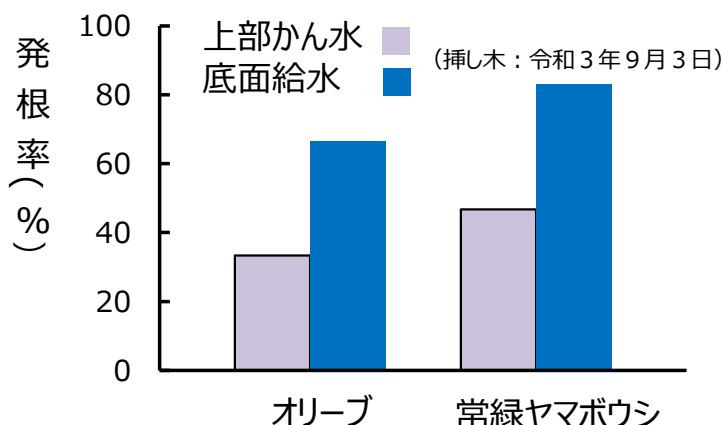
常緑ヤマボウシ
(ホンコンエンシス)

挿し木日	発根率 (%)
7月17日	73
9月10日	38
12月11日	0

かん水方法

底面給水により、
挿し穂の濡れを防ぐことが重要！

上部の濡れや過湿が、枯死の要因のひとつ



養生時の光条件

挿し木中も一定の光が必要！

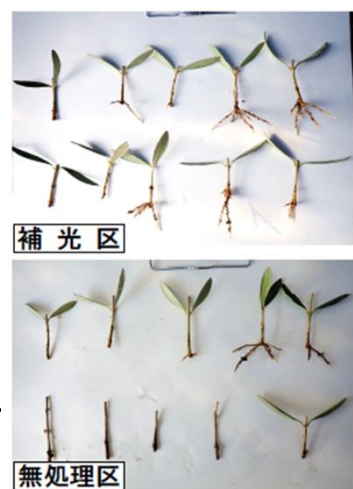
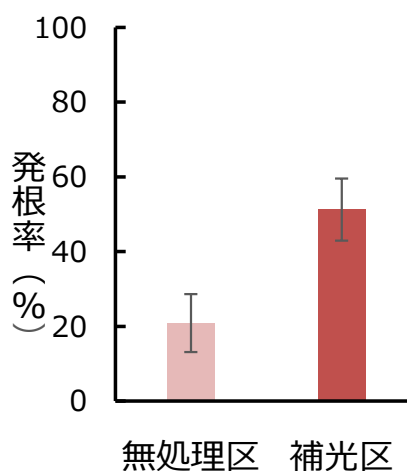
遮光別のオリーブの発根率と生育

光条件 (lux)	発根率 (%)	根数	最大根長 (mm)
12,000	61.1	2.7	74.6
1,700	52.8	3.0	55.3
0.3	0.0	0.0	0.0

12,000luxの光量で発根率が向上

9月に80%遮光したのと同等の光量

→80%遮光で養生するのが適当



補光により、オリーブの発根率向上！

